

法に通ずることが必要であるが、本書には恐らく熱心な讀者を満足せしめるであらう。文法の外に古代の文學史學哲學に關する解説や研究論文、近代語と古典語との關係に關する論文などを掲げて、進んだ研究の参考としてある。語學の獨習書や講義録の中には、加減なごまかしものが少くない。本講座はさういふ懸念なしに安心して讀めると思はれる。

(高橋俊乘紹介)

### 國民道德の倫理學 近藤兵庫著 培風館發行 基礎としての

倫理學と言へば常に西洋の倫理學を意味するやうな西洋中心的な考へ方は、も早や今日の我々日本人はやめたいものである。單に倫理學と言へば東洋西洋の倫理學を統一調和したものでなければならぬ。これは随分困難なことであつて、もと／＼文化系統の異なる東洋と西洋との倫理學説を完全に統一することは至難とも言へるであらう。やゝもすれば本に竹を繼いだやうになるが、本書は矢張り西洋倫理學に基礎を置いてゐると言へ、この點に特に努力してゐる。

又人類一般或は人道を普遍的に研究した倫理學と我が國民道德論とは從來全く別物に取扱はれて來た。前者は國境を超越して一般的に研究されるから、時として我が國體如何を省みないやうな事もある。國民道德論は多くは國史に本づく道德論となつて保守的因襲的となる。従つて前者は實踐に功なく、後者は現代の人を指導する力に乏しい。二者は統一されて始めて、現代日本人を指導する力が出るであらう。倫理學者の中には倫理學は善行爲に關する理論を明かにするものであつて、善行指導に役立つもので

はないと考へる人もあるけれども、本書の著者は之を排し、どこまでも實行指導をなすべきものと解してゐる。著者は倫理學の全範圍は「私を善くすること」と解してゐる。私は個人であるけれども、人は社會的動物である限り、全人類乃至宇宙を豫想し、又之を背景としてゐるから、結局、社會全體を善くすることにもなる社會に種々の段階及び種類があるけれども、今日の人類に於ては國家が最も重要な社會であり、最も強固な社會であるから、國民道德が實踐上最も力を持つた道德となる。嚴密に言へば國民道德は普遍道德よりも狭いから、我が國民道德は勿論、一般道德の部分にすぎないが、日本人としての「私」の改善には倫理學も國民道德論も同じ効果を有する。況んやかゝる國民道德論は日本人なる「私」には規範であるのみならず外國人たる「私」にも参考となりうるものである。

この趣旨によつて論考を進めたのが本書である。全篇が必ずしも卓拔なる論述ではない。常識的なと思はれる箇所も少くないが愛國經世の意氣に溢れたものであつて、實踐道德指導に益が少なからざる良書であると信ずる。

(高橋俊乘紹介)

## 彙報

### 教育學讀書會

五月五日午後一時より 教育學研究室にて

宗教的自覺と教育

三谷久男君

### 教育研究會

五月十三日夜 學生集會所にて

歐米教育視察談

京都市立堀川高等女學校長 野田 一 郎君

### 心理學讀書會

五月八日 午後三時より心理學教室にて

E・G・ホーリングの心理學觀

五月十五日 同右

獨り子の特性一二

高木 貞 二君

黒田 利 平君

### 社會學讀書會

五月九日午後七時より 樂友會館にて

テオドル・リットの「個人と社會」

重松 俊 明君

### 印度佛教學會

五月十三日午後七時より 樂友會館にて

于闐佛教傳來について

羽 溪 了 諦君

### 西 哲 會

五月十五日午後五時半より 樂友會館にて

題 目 未 定

下 村 大君

### 倫理學讀書會

五月十五日午後三時より 倫理學研究室にて

マクス・シェーラーの「哲學的世界觀」 西 田 禎 文君

### 純 哲 哲學茶話會

五月二十二日午後七時半より 樂友會館にて

精神の三つの在り方に就いて 船 山 信 一君

### Archiv für Geschichte der Philosophie

### 新計畫に就て

同誌主幹 Prof. Arthur Stein 氏は今般仁父の遺業をついで編纂者となれるに際し、新計畫を立て、廣く、東西洋の列國の哲學者の協力により、各國學者の哲學史研究論文の紹介批評を蒐めることとなり、我が國からは東北帝大の石原謙教授、小山鞠繪教授が右事業を援助されることとなつた。この事業が我が國學界の歐米進出となり、從來動もすれば言語の相違から、折角の貴重有益なる我が國學者の研究も、我が國の學界だけに局限され、歐米の學界には容易に認められなかつたものであるが、この弊も、右事業に参加することにより、大いに減少しうるであらう。吾人は右雜誌の新計畫を歓迎すると共に、日本論文の批評紹介を引受けられた人々の勞に感謝しなければならぬ。

右アルヒーフに關する問合せ及び講演希望は凡て石原教授が取

次の勞を取つて下さるさうであるから、東北帝大哲學研究室内同氏宛に申込まれたいとの事である。

### 寄贈雜誌新聞

丁酉倫理會講演集	昭和六年五月號	三四三輯
哲學雜誌	同五月號	五三一號
京城心理學彙報	同四月號	一卷二號
社會學徒	同五月號	五卷五號
大谷學報	同三月號	十二卷二號
奈良縣教育	同五月號	二一七號
信濃教育	同五月號	五三五號
生理學研究	同五月號	八卷五號
教育問題研究	同五月號	五九號
學校教育	同五月號	二一五號
願 慧	同五月號	十年五號
Archiv für Geschichte der Philosophie, Band XL, Heft 1.		
帝國大學新聞	昭和六年四月二十七日、五月四日、五月十一日	

### 寄贈圖書

ウインデルバント著  
 哲學概論 清水 清譯 玉川學園出版部刊  
 定價參圓

ヘーゲル著  
 法の哲學 岡田隆平共譯 鐵塔書院 圓刊  
 マクス・シエラー著  
 哲學的人間學 佐藤俊雄共譯 理想社出版部刊  
 定價壹圓參拾錢

ギリシアロラテン講座  
 第一部ギリシア一 鐵塔書院刊 定價壹圓五拾錢  
 第二部ラテン一 同 刊 定價壹圓五拾錢